

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	社会体育施設大規模改修事業	会計	一般会計	事業No.	730	施策順No.	26-004
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-6-2-11-4		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり				課等名	生涯学習・スポーツ課	
施策	26 スポーツの振興	事業期間	開始	終了			

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	大規模改修が必要な社会体育施設						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	大規模改修が必要な社会体育施設の数:(施設)経年劣化により新たな対象が生ずる。		16	14	14	14		
対象をどう変えるか	意図	①社会体育施設を年次計画により改修を行い効率的・経済的な施設整備を行う ②安全で快適に利用できる							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		改修施設の数	2	2	6	6	5	6	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	上郷体育館耐震改修、鼎体育館耐震改修、今宮球場スタンド改修など国庫補助を利用して、大規模改修が実施できた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	社会体育施設(体育館、武道館、アクアパーク、B&G海洋センター、テニスコート、研修センター、運動場等)年次計画により改修を行い効率的・経済的な施設の整備を行う。市民ニーズやスポーツ振興による新設整備、備品整備を行う。 天竜峡テニスコート改修事業 飯田市武道館改修事業 今宮野球場改修事業 飯田総合運動場改修事業 アクアパークHIDA改修事業 南信濃B&G海洋センター改修事業 運動場トイレ水洗化事業 体育施設用備品整備事業 など 鼎体育館・上郷体育館は、災害避難施設として耐震化に合わせて改修事業を計画するため、社会体育施設耐震化を大規模改修事業で実施する。(平成23年度完了) 天竜峡テニスコートに市道がかかるため、平成23年度は、現地に砂入り人工芝のコートを6面と新管理棟を建設する。 川路提外地に盛土をし、サッカーコート3面が利用できる多目的広場を建設する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 鼎体育館耐震改修等104,003千円(緊急経済対策) 実施設計業務委託2,520千円(") 2 上郷体育館耐震改修等80,745千円(緊急経済対策) 実施設計業務委託2,468千円(") 3 市営今宮球場改修工事24,980千円(緊急経済対策)	大規模改修を実施した施設	3
23年度実施計画	1 50mプールろ過装置改修工事 3,150千円 スライダー補修工事 1,000千円 次亜塩素酸貯留タンク洗浄工事 315千円 起流ポンプ等修理 800千円 タッチパネル改修 500千円 2 今宮野球場外野ボール(10本)、ファウル判定ボール塗装 1,000千円 3 飯田市武道館壁面改修工事 4,000千円 4 桐林運動場照明増設工事 4,300千円(桐林クリーンセンターの關係) 5 天竜峡テニスコート改修工事 115,000千円(22年度補正分は繰越明許) 6 川路多目的広場整備費 2,000千円 川路広場サッカーゴール 815千円(備品)	大規模改修を実施した施設	6

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補正事項 (国)21→22繰越明許費214,871千円
	国庫支出金		214,871	214,715		
	県支出金					
	起債					
	その他				35,000	
一般財源		58,800		89,250		
計(A)		273,671	214,715	124,250		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			214,715			

4 事業に対する市民や議会の意見

それぞれの施設において利用者から改修要望や新設要望が寄せられている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しむ ②競技力が向上する。	施策の成果指標又はムトス指標	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:(%)
				0.552
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	市内の社会体育施設の老朽化に対処するため、大規模改修を計画的に行うことにより、スポーツの普及に努めた。総合運動場、鼎体育館、上郷体育館、アクアパークIIDAなど大規模施設の改修等をほぼ計画どおり実施できた。		
	後期に向けた課題	スポーツ振興のために、新たな大規模改修計画の見直しを行いたい。 新体育館建設、押洞テニスコートの人工芝化など、地域や団体の要望を検討する必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	単費のみだけではなく、国庫補助等を利用して事業を実施するようにした。		
	後期に向けた課題	全市的な均衡を考慮して、施設の改修計画を樹立する。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	指名競争入札により業者を選定した。		
	後期に向けた課題	新規事業を実施する際は、専門業者のみではなく、広く地元から情報をえることで、設計額を抑える工夫をする。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題	社会体育施設の使用料について、5年に1度の見直しをしているが、毎年他施設と考え方を統一するようにする。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行 政はどのような働きかけをしてき ましたか、又は、配慮してき ましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	20年度に大規模改修基本計画を策定し、毎年見直しをかけている。		
	後期に向けた課題	毎年、全体の均衡と財政を考慮して、大規模改修の長期計画の見直しをかける必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------